

工学基礎・数学ミニマム テスト 7

次の空欄 (番号) に当てはまるものを各々の選択肢から選びなさい。

(1) $e^{i\pi} = \boxed{1}$, $\lim_{x \rightarrow 0} \frac{\log(a+x) - \log a}{x} = \boxed{2}$. ただし, $a > 0$, 対数は自然対数とする.

(選択肢) ① 0 ② 1 ③ 2 ④ 3 ⑤ -1 ⑥ -2 ⑦ -3 ⑧ e ⑨ $\frac{1}{a}$

(2) 半径の長さが 1, 中心角の大きさが θ ラジアン の扇形によって作られる円錐の容積を考える. この扇形の弧の部分の長さは 3 であるので, この円錐の容積を最大にする θ は 4 である.

(選択肢) ① $\frac{\theta}{\pi}$ ② θ ③ $\pi\theta$ ④ $\frac{\pi}{2}$ ⑤ $\frac{\sqrt{6}}{3}\pi$ ⑥ π ⑦ $\frac{2\sqrt{6}}{3}\pi$
⑧ $\frac{4}{3}\pi$ ⑨ 2π

(3) $\sin x$ と e^x のマクローリン展開を利用して, $\frac{\sin x}{e^x}$ のマクローリン展開を求めると, x^2 の係数は 5, x^3 の係数は 6 となる.

(選択肢) ① 0 ② 1 ③ 2 ④ -1 ⑤ $\frac{1}{3}$ ⑥ $-\frac{1}{3}$ ⑦ $\frac{1}{2}$ ⑧ $-\frac{1}{2}$
⑨ $\frac{\sqrt{3}}{2}$ ⑩ $-\frac{\sqrt{3}}{2}$

(4) 2変数関数 $f(x, y) = x^y$ に対して f_{xy} , f_{yy} を求めると, $f_{xy} = \boxed{7}$, $f_{yy} = \boxed{8}$ である. (ただし, 下の選択肢において対数は自然対数とする.)

(選択肢) ① x^y ② y^x ③ yx^{y-1} ④ $y(y-1)x^{y-2}$ ⑤ $(y \log x + 1)x^{y-1}$
⑥ $x^y \log x$ ⑦ $yx^{y-1} \log x$ ⑧ $x^y(\log x)^2$
⑨ $x^{y-1}(\log x)^2$

(5) 曲面 $z = x^2 + xy + y^2$ 上の点 $(-1, 1, 1)$ において, z が最も増加する方向 (曲面の傾斜が最大の方向) を向いた平面ベクトル (勾配ベクトル) は **9**, その方向への方向微分は **10** である.

- (選択肢) ① $\begin{bmatrix} 1 \\ 1 \end{bmatrix}$ ② $\begin{bmatrix} -1 \\ 1 \end{bmatrix}$ ③ $\begin{bmatrix} 1 \\ -1 \end{bmatrix}$ ④ $\begin{bmatrix} -1 \\ -1 \end{bmatrix}$ ⑤ $-\sqrt{2}$
 ⑥ $-\frac{1}{\sqrt{2}}$ ⑦ $\sqrt{2}$ ⑧ $\frac{1}{\sqrt{2}}$ ⑨ $-\frac{1}{2\sqrt{2}}$ ⑩ $\frac{1}{2\sqrt{2}}$

(6) $\frac{2x}{\sqrt{1-x^4}}$ の原始関数は **11** であるから, $\int_0^1 \frac{2x}{\sqrt{1-x^4}} dx = \mathbf{12}$ となる.

- (選択肢) ① $\arccos(x^2)$ ② $\arctan(x^2)$ ③ $\arcsin(x^2)$ ④ $-\frac{\sqrt{1-x^4}}{4x^3}$
 ⑤ $-\frac{\sqrt{1-x^4}}{8x^3}$ ⑥ $\frac{\pi}{6}$ ⑦ $\frac{\pi}{3}$ ⑧ $\frac{\pi}{2}$ ⑨ $-\frac{\pi}{6}$ ⑩ $-\frac{\pi}{3}$

(7) 二重積分 $\iint_D x dx dy$ ($D = \{x^2 + y^2 \leq 1, 0 \leq y \leq x\}$) を計算する. 直交座標 (x, y) から極座標 (r, θ) への変換 $x = r \cos \theta, y = r \sin \theta$ を行い, この二重積分を累次積分に書き換えると **13** となり, この二重積分の値は **14** となる.

- (選択肢) ① 0 ② 1 ③ $\frac{\sqrt{2}}{6}$ ④ $-\frac{\sqrt{2}}{6}$ ⑤ $\frac{2-\sqrt{2}}{6}$ ⑥ $-\frac{2-\sqrt{2}}{6}$
 ⑦ $\int_0^{\frac{\pi}{4}} \left(\int_0^1 r^3 \sin \theta \cos \theta dr \right) d\theta$ ⑧ $\int_{\frac{\pi}{4}}^{\frac{\pi}{2}} \left(\int_0^1 r^3 \sin \theta \cos \theta dr \right) d\theta$
 ⑨ $\int_0^{\frac{\pi}{4}} \left(\int_0^1 r^2 \cos \theta dr \right) d\theta$ ⑩ $\int_{\frac{\pi}{4}}^{\frac{\pi}{2}} \left(\int_0^1 r^2 \cos \theta dr \right) d\theta$

(8) $z = \frac{1}{3} + \frac{1}{\sqrt{3}}i$ の極形式をオイラーの公式を用いて表わすと **15** であり, また, z の平方根の 1 つは **16** となる.

- (選択肢) ① $\frac{2}{3}e^{i\frac{\pi}{3}}$ ② $\sqrt{\frac{2}{3}}e^{i\frac{\pi}{2}}$ ③ $\frac{2}{3}e^{i\frac{2\pi}{3}}$ ④ $\sqrt{\frac{2}{3}}e^{i\pi}$ ⑤ $\sqrt{\frac{2}{3}}e^{i\frac{7\pi}{6}}$
 ⑥ $\frac{2}{3}e^{i\frac{4\pi}{3}}$ ⑦ $\sqrt{\frac{2}{3}}e^{i\frac{3\pi}{2}}$ ⑧ $\frac{2}{3}e^{i\frac{5\pi}{3}}$ ⑨ $\sqrt{\frac{2}{3}}e^{i\frac{11\pi}{6}}$ ⑩ $\sqrt{\frac{2}{3}}$

(9) 連立方程式 $\begin{cases} ax + 6y + 3z = 0 \\ 2x + ay + z = 1 \\ x + 2y + z = 0 \end{cases}$ について、この連立方程式の係数行列を $A = \begin{bmatrix} a & 6 & 3 \\ 2 & a & 1 \\ 1 & 2 & 1 \end{bmatrix}$ とすると、行列式 $|A|$ の値は **17** である。また、この連立方程式が解をもたない条件は、 $a = \mathbf{18}$ となる。

- (選択肢) ① 0 ② 1 ③ 2 ④ 3 ⑤ $a(a-1)$ ⑥ $a(a-2)$
 ⑦ $a(a-3)$ ⑧ $(a-1)(a-2)$ ⑨ $(a-1)(a-3)$ ⑩ $(a-2)(a-3)$

(10) 行列 $A = \begin{bmatrix} 1 & 2 & 0 \\ 3 & 4 & 0 \\ 0 & 4 & 5 \end{bmatrix}$ に対して、逆行列 A^{-1} の (1,1) 成分は **19**, (1,2) 成分は **20** となる。

- (選択肢) ① 0 ② 1 ③ 2 ④ 3 ⑤ 4 ⑥ -1 ⑦ -2 ⑧ -3 ⑨ -4
 ⑩ -5

(11) 行列 $A = \begin{bmatrix} 7 & -5 & 4 \\ 4 & -2 & 4 \\ 4 & -5 & 7 \end{bmatrix}$ の固有値を計算する。 I を単位行列とすると、固有方程式 $|\lambda I - A| = 0$ を解くと、 A の固有値は 6 と **21** であり、6 に対する固有ベクトルは **22** の定数倍で表される。

- (選択肢) ① 0 ② 1 ③ 2 ④ 3 ⑤ -1 ⑥ -2 ⑦ $\begin{bmatrix} 1 \\ 1 \\ 1 \end{bmatrix}$ ⑧ $\begin{bmatrix} 1 \\ 1 \\ -1 \end{bmatrix}$ ⑨ $\begin{bmatrix} 1 \\ -1 \\ -1 \end{bmatrix}$